

# 赤塚公園 崖線の植物 観察レポート

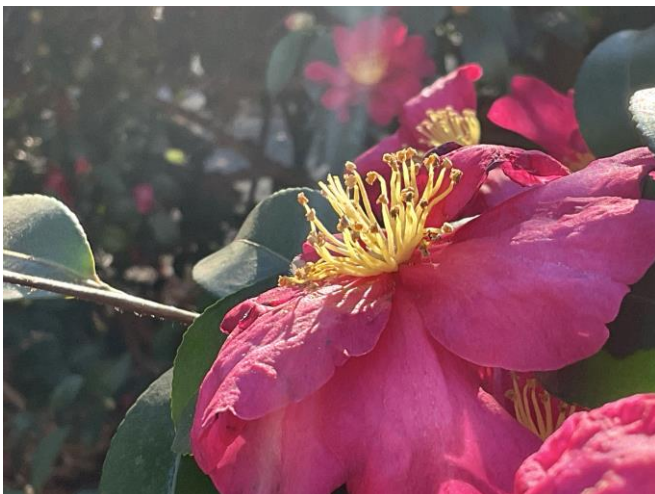
## 2025.1.9

発行：赤塚公園サービスセンター  
＜第16号＞

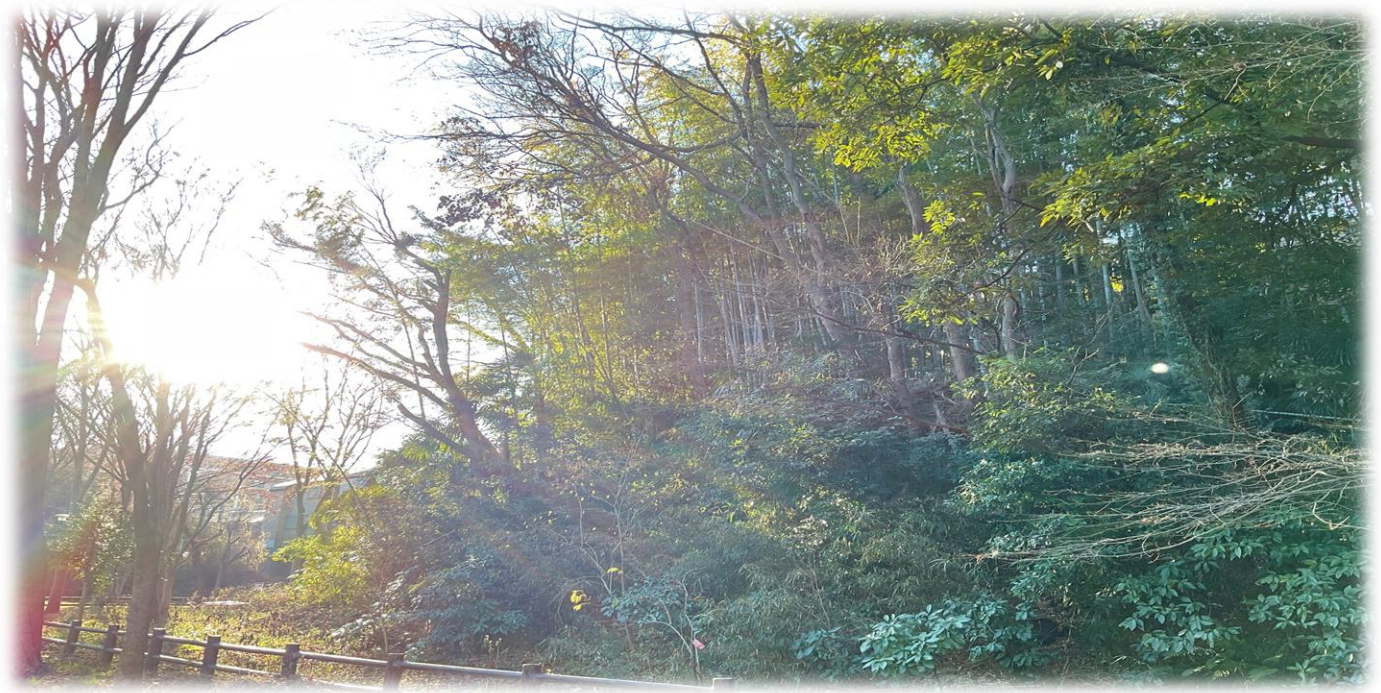
新しい一年が始まりました！植物に降りた霜が美しい、寒い朝の観察初め♪ **八丁目の林**近くでは**コセンダングサ**の水中にいるような様子は自然からのお年玉。りっぱなひつつき虫になりますよ！



**大門地区**では**サザンカ**(左)、**マンリョウ**(右)の鮮やかさに目が留まります。**ヤブツバキ**の蕾はまだかたく、**ニリンソウ**や**ジロボウ****エンゴサク**など春の花の開花を待つ林は、冬の優しい光を受けてしばしの静寂に、神聖さを感じられる場所(次ページ)でした。








城址地区の梅林では、**紅梅・白梅**とも小さな蕾(右)のかわいらしさに心が和みます。**中央地区**で見ごろの**ロウバイ**は、城址地区ではまだ蕾。開花時期が地区によって変わる・・・これも自然の姿ですね。私たちは楽しみに待つばかり。それがまた、良きかな。



左2枚は**ムラサキカタバミ**です。寒い朝はお目覚め前でしたが、あたたかくなった昼ごろに花が開きました！そんな姿にも「冬のほっこり」を見つけてみては？

最後に・・・

「崖線の植物  観察レポート」第16号いかがでしたか？足もとには春を前に植物が葉を展開させています。寒い冬あればこそ、春を待つ楽しさがあると気づく観察デー。皆様に楽しんでいただけたら嬉しいです。